

一般会計   歳入		(単位:千円)		
区分	平成20年度		対前年度	
	決算額	構成比(%)	増減額	率(%)
町税	749,912	13.1	△19,885	△2.6
(町民税)	(339,433)	-	(△14,895)	-
(固定資産税)	(275,255)	-	(503)	-
(軽自動車税)	(13,079)	-	(484)	-
(町たばこ税)	(76,141)	-	(△5,779)	-
(都市計画税)	(38,912)	-	(175)	-
(入湯税)	(7,092)	-	(△373)	-
地方譲与税	72,950	1.3	△3,192	△4.2
利子割交付金	3,608	0.1	△185	△4.9
配当割交付金	704	0.0	△1,305	△65.0
株式等譲渡所得割交付金	512	0.0	△581	△53.2
地方消費税交付金	88,940	1.5	△6,833	△7.1
ゴルフ場利用税交付金	556	0.0	△805	△59.1
自動車取得税交付金	18,125	0.3	△4,605	△20.3
地方特例交付金	6,653	0.1	2,683	67.6
地方交付税	3,065,492	53.4	80,536	2.7
交通安全対策特別交付金	1,172	0.0	△191	△14.0
分担金及び負担金	3,587	0.1	△61	△1.7
使用料及び手数料	130,097	2.3	△2,012	△1.5
国庫支出金 ※補助金など	461,351	8.0	250,782	119.1
道支出金 ※補助金など	300,257	5.2	△484,737	△61.8
財産収入	27,542	0.5	△11,753	△29.9
寄附金	5,895	0.1	5,015	569.9
繰入金 ※貯金取崩し	51,812	0.9	△8,534	△14.1
繰越金	81,317	1.4	△1,276	△1.5
諸収入	240,955	4.2	△53,601	△18.2
町債 ※借金	428,531	7.5	△254,663	△37.3
合計	5,739,968	100.0	△515,203	△8.2

一般会計   歳出		(単位:千円)		
区分	平成20年度		対前年度	
	決算額	構成比(%)	増減額	率(%)
議会費	49,956	0.9	△245	△0.5
総務費	308,681	5.8	34,596	12.6
民生費	760,612	14.2	138,657	22.3
衛生費	388,191	7.2	△140,081	△26.5
労働費	5,647	0.1	△275	△4.6
農林水産業費	265,430	5.0	△731,774	△73.4
商工費	122,632	2.3	181	0.1
土木費	810,698	15.1	△34,513	△4.1
消防費	277,330	5.2	59	0.0
教育費	307,902	5.7	△18,403	△5.6
災害復旧費	368	0.0	△251	△40.5
公債費 ※借金返済	1,080,322	20.1	△9,371	△0.9
諸支出金	988,486	18.4	△46,180	△4.5
予備費	0	0.0	0	0.0
合計	5,366,255	100.0	△807,600	△13.1

平	成	20	年	度
羽	幌	町	の	
決	算	報	告	

平成20年度の各会計決算が町議会9月定例会で認定されました。

一般会計の歳入総額は57億3,997万円、歳出総額は53億6,626万円で、差し引き3億7,371万円の黒字決算となっていますが、その内の2億8,631万円は国の景気対策として予算措置され、「繰越明許費」により平成21年度に繰り越して事業を実施するものです。

#### 厳しい羽幌町の財政状況

歳入のうち国から交付される「地方交付税」が約半分を占めています。

国の財政も依然厳しい状況となっていることから、この交付税が今後どのように変わっていくのか気を付けていかなければなりません。

歳出においても厳しい財政状況にあるため、これからも行財政改革を進め効率的で持続可能な財政にしていくことが必要となっています。



## 町の財産と貯金

公有財産	金額/面積
土地	1,524万㎡
建物	13万㎡
有価証券	4,148万円
出資による権利	1億5,219万円
債権	金額
羽幌港漁業補償	196万円
宿泊施設内部設備資金貸付金	2,000万円
水産加工協経営基盤整備資金貸付金	900万円
商業複合施設整備事業貸付金	3,621万円
合 計	6,717万円
基金(貯金)	金額
奨学基金	1,472万円
財政調整基金	5億7,260万円
減債基金	5億5,840万円
役場庁舎等整備基金	1億2,502万円
まちづくり事業基金	2億9,113万円
まちづくり応援基金	31万円
交通対策事業基金	1億8,807万円
天売島オロロン鳥保護基金	506万円
地域福祉基金	2億3,872万円
人づくり事業基金	4,601万円
介護保険給付費等準備基金	5,916万円
介護従事者待遇改善臨時特例基金	484万円
国民健康保険給付費支払準備基金	3億2,472万円
特別養護老人ホーム整備基金	3億8,535万円
合 計	28億1,411万円

## 町の借金

区分	現残高
道路・橋りょう・河川施設	3億6,250万円
港湾・漁港施設	28億3,132万円
学校教育施設	3億7,071万円
社会体育施設	1億3,754万円
公営住宅施設	10億6,593万円
老人福祉施設	2,356万円
保健衛生施設	0円
水産業振興施設	8,139万円
農林業振興施設	4億330万円
集会施設	0円
公園施設	4,325万円
町有林・草地整備	2億5,519万円
消防施設	4,152万円
観光・レクリエーション施設	4,561万円
清掃運搬車整備	205万円
商店街環境整備	29万円
その他	20億500万円
簡易水道施設	1億6,289万円
下水道施設	36億8,155万円
合 計	115億1,360万円

## 特別会計

(単位:千円)

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	1,210,435	1,196,886	13,549
老人保健医療	132,037	125,879	6,158
下水道事業	560,067	560,066	1
簡易水道事業	45,717	45,712	5
介護保険事業	809,325	803,393	5,932
後期高齢者医療	96,152	95,996	156
合 計	2,853,733	2,827,932	25,801

## 水道事業会計

(単位:千円)

収益的収入及び支出		決算額	対前年度増減額
収入	水道事業収益	242,481	△6,475
	(営業収益)	241,783	△6,736
	(営業外収益)	698	680
	(特別収益)	0	△419
支出	水道事業費用	204,689	△10,852
	(営業費用)	162,456	△11,080
	(営業外費用)	42,233	228
	(予備費)	0	0
資本的収入及び支出		決算額	対前年度増減額
収入	資本的収入	1,739	△589
	(企業債)	0	0
	(補助金)	0	0
	(補償金)	1,739	△589
支出	資本的支出	69,703	19,621
	(建設改良費)	9,680	△2,400
	(企業債償還金)	60,023	22,021
	(国補助金償還金)	0	0

決算額は消費税差し引き後の額です。

収益的収支決算 利益 37,792千円

資本的収支額 収入不足額 67,964千円

資本的収支の不足額については、留保資金で補填しています。



平成20年度の各会計が監査委員の審査を経て、各会計決算特別委員会で審議を終了、町議会9月定例会で認定されました。

## 平成20年度に実施した主な事業

区分	事業名	金額
総務費	町有施設下水道接続工事	1,581万円
民生費	特別養護老人ホーム改築設計	3,990万円
農林水産業費	羽幌二股ダム土砂吐ゲート受台改修	967万円
	畜産担い手育成総合整備事業(草地整備等)	720万円
	漁協製氷貯氷冷蔵施設改修整備事業補助	5,457万円
工商費	天売赤岩展望台高欄支柱取替工事	725万円
土木費	街路灯取替補修(16基)	514万円
	公営住宅建設事業(朝日団地・天売団地)	1億4,012万円
	港湾整備(国直営)	1億4,346万円
	港湾緑地整備事業	2,200万円
教育費	羽幌中学校耐震改修実施設計	1,071万円
下水道事業特別会計	公共下水道事業(管渠布設ほか)	1億8,945万円



平成13年度から始まった朝日団地の建設。計画終了年度の平成22年度には43棟86戸となる見込みです。

平成20年度の決算から町民のみならず1人あたりの税金負担額と、世帯・個人に使われた金額を計算しました。

町民1人あたりの町税負担額

**89,617円**

(749,912千円 ÷ 8,368人)  
昨年度と比べ767円の減

1世帯あたりに使われた額

**1,363,378円**

(5,366,255千円 ÷ 3,936世帯)  
昨年度と比べ201,604円の減

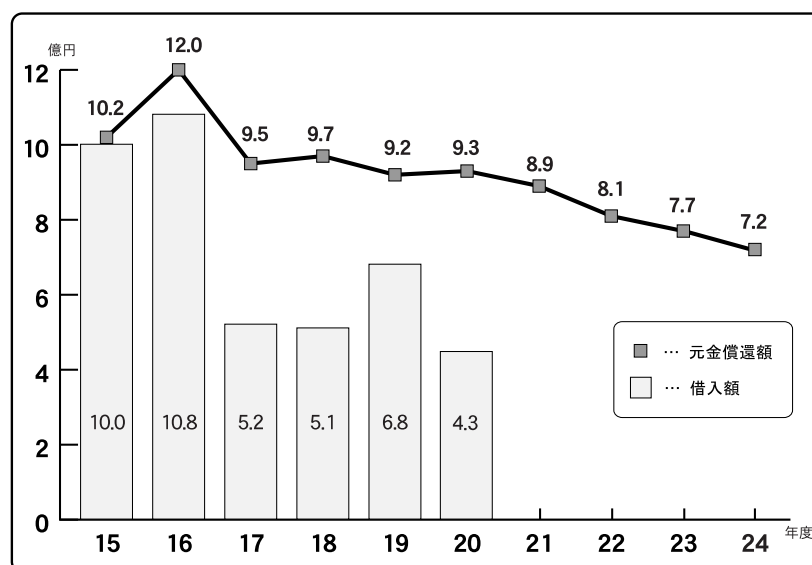
町民1人あたりに使われた額

**641,283円**

(5,366,255千円 ÷ 8,368人)  
昨年度と比べ83,603円の減

人口・世帯数は平成21年3月末日現在

## 町債年度別借入額・償還額の推移(一般会計)



15年度～20年度は実績。21年度以降は20年度末残高に対する償還額。

平成20年度で実施された主な事業は表のとおりとなっております。このような大きな事業を実施する場合は、国などから借金をすることがあります。

一般会計における借入額は棒グラフ、償還額は折れ線グラフのとおりですが、平成20年度の借入は港湾整備や公営住宅整備、漁業関連施設整備が主なものとなっております。

償還額は、減少傾向にあります。今後において大きな事業も計画されており、借金が増えることも考えられます。

今後も引き続き、総合振興計画や自立プランに沿って計画的な事業を実施し、更に健全な財政運営を目指して取り組んでいく必要があります。